

# ☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年7月10日 VOL. 63

## 広幡地区社会福祉協議会役員が支え合いの地域づくりの先進地を視察！



説明に耳を傾ける広幡地区社協の参加者

平成30年6月26日（火）に「高齢者のための支え合いの地域づくり推進モデル地区」として市が指定した広幡地区社会福祉協議会（以下「広幡地区社協」）の役員ら22名が、磐田市と掛川市の地域づくりの先進事例の視察に出向きました。

広幡地区社協では、高齢者のための支え合いの取組として手助け活動の立ち上げや組織の体制強化などについて研究しており、参加者は熱心に先進地域の人たちの説明に聞き入り、具体的な活動内容や課題解消の方法について質問をするなど、手助け活動の実施への決意を新たにしました。

広幡地区社協からは、会長をはじめとする三役や顧問、企画委員及び運営委員が視察に参加し、下記の2地区で地域住民による手助け活動の実践の手法や高齢者見守り事業の実施のための組織体制の強化について学びました。

### 磐田市豊岡地区社協せいかつ応援倶楽部

せいかつ応援倶楽部は、豊岡地区の人が、地域の中で孤立することなく、安心して自立した生活を続けていけるよう支え合いの地域づくりを目指し、「ちょっとした困りごと」を地域住民が助け合うことで解決する取組です。



↑ せいかつ応援倶楽部の概要を説明する、江間彦之豊岡地区社会福祉協議会 会長(左)とボランティア

← 資料として配布されたせいかつ応援倶楽部の事業のリーフレット



### 掛川市西山口地区福祉協議会

西山口地区福祉協議会は、ボランティアが地区福祉協議会の組織の構成員として地域福祉活動の継続性を生み、地域の福祉力のアップを図っています。その中で、住民間での役割分担を明確にしながら、高齢者の見守り事業等を実践しています。



↑ 活動の説明をする、牧野光治西山口地区福祉協議会会長(右)と、菅沼孝行同協議会企画委員長



← 地域で重要な役割を果たす福祉の人材の育成について、感想を述べる参加者